

人間関係論

Human Relations

生命：A1-02121MS

素養科目 1年／後期 1単位 必修科目

科目責任者 田口 潤(社会福祉学研究室)

■教育目的

これまで、人間関係を構築していく中で自らが行っていた工夫には、丁寧に見ていくと理論に基づいていることが多々ある。
本講義の目的は、将来、薬学研究者や医療関係の組織に従事することになった時、患者や職場の同僚と良好な対人関係を形成・維持するために、人間関係の基礎理論や対人関係スキルに関する認識を深めることにある。

【卒業認定・学位授与の方針：SD-④、SD-⑤】

■学習到達目標

1. 人間関係に関する基本的な知識やスキルについて理解する。(知識、態度)
2. 人間関係の諸相に関する適切な対応方法について理解し、技術を身につける。(知識、技能、態度)
3. 医療現場における人間関係のあり方について理解する。(知識、態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：シラバスに提示された講義内容について、各自興味を持ったキーワードを 30 分程度インターネット等で調べる。

復習：前回の講義内容を 20 分程度復習してから次回の講義に出席する。

■授業形態

ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、講義

■授業内容

本授業は、講義、演習(グループワーク、ディスカッション)プレゼンテーションを組み合わせで進めていきます。

No.	項目	授業内容	備考・SBO コード
1	オリエンテーション	本講義の目的、概要、導入	
2	人間関係の基礎理論	対人魅力、印象形成(SGD)	
3	人間理解の方法	自己理解、他者理解のための交流分析	
4	組織の人間関係	接遇、敬語	
5	組織の人間関係	リーダーシップ、フォロワーシップ、サーバントシップ(SGD)	
6	人間関係とコミュニケーション	気持ちの伝え方・受け止め方、パーソナルスペース、コミュニケーションギャップ	
7	人間関係とコミュニケーション	ティーチング、カウンセリング、コーチング(SGD)	
8	高齢者への接し方	高齢者や理解が難しい人への接し方	
9	高齢者への接し方	認知症、中核症状、行動心理症状	
10	障害を持つ子どもや大人への接し方	障害の理解、障害を持つ子どもや大人への接し方	
11	患者心理と健康行動	行動変容のステージモデル、健康教育(SGD)	
12	リスク管理と人間関係	ヒューマンエラー、ハインリッヒの法則	
13	実践現場の人間関係	チーム医療、多職種連携、協働(SGD)	
14	実践現場の人間関係	円滑な人間関係を築くために	
15	まとめ	まとめと補足	

■授業分担者

田口 潤(No.1～13,15)、外部講師(No.14)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

講義資料は授業時に配布する。また随時、もしくはオフィスアワー内で質問等に応じる。さらに、講義中に配布するルーブリック表に基づき、授業に対する参加度等(30%)グループワークでの成果物、講義内課題、レポート課題等(70%)で総合評価を行う。

■教科書

プリントを配布する。

■参考書

講義時に紹介する。